

各課からのメッセージ：11月は「ねんきん月間」、11月30日は「年金の日」です。

年金管理課 椎木 恭也

厚生労働省では、毎年11月30日（いいみらい）を「年金の日」とし、「ねんきんネット」等を利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを呼びかけています。また、厚生労働省と日本年金機構は協力して、11月を「ねんきん月間」と位置づけ、国民の皆さまに年金制度に対する理解を深めていただくため、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。

ということで、今回は公的年金制度の必要性や仕組みについて考えてみましょう。

公的年金制度は必要なの？

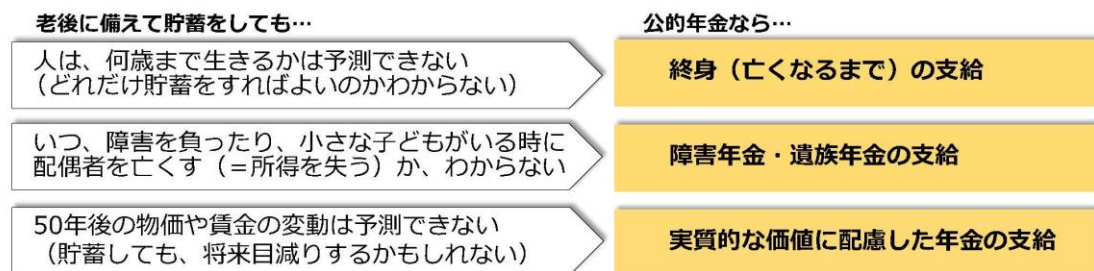
年金制度の必要性を考えるにあたって、まずはご自身の人生について考えてみましょう。多くの方が健康で長生きし、安定した収入が得られ、老後はゆとりある生活をしたいと願っているのではないのでしょうか。

しかしながら、自分や家族の加齢、障害、死亡など、さまざまな要因で、自立した生活が困難になるリスクがあるのが現実です。こうした生活上のリスクは、予測することができないため、個人だけで備えるには限界があります。そこで、これらに備えるための仕組みが、公的年金制度です。公的年金制度は、あらかじめ保険料を納めることで、必要なときに給付を受けることができる社会保険です。

もし、公的年金制度がなかったらどうでしょう。私たちは、働いて得たお金で子を育てながら、老後を迎えた親の生活を仕送りなどで支えなければなりません。また同時に、自分自身の老後のために生活資金をたくわえなければなりません。しかし、自分が何歳まで生きられるのか、いくら貯めればいいのか、また、長い人生の間に、経済の状況や社会の在り方がどのように変化していくのかは誰にも予測できません。

予測できない将来へ備えるためには、「社会全体で支える」公的年金制度が必要なのです。

公的年金制度の特徴



昔と今の物価		1965年 → 2010年	
鶏肉	100g	71.8円	129円(1.8倍)
牛乳	瓶1本	20円	114円(5.7倍)
カレーライス	1皿	105円	742円(7.1倍)
コーヒー(喫茶店)	1杯	71.5円	411円(5.7倍)
ノートブック	1冊	30円	144円(4.8倍)

(出典：小売物価統計調査)

一般に、民間金融機関が販売する個人年金保険(金融商品)は、**将来の物価上昇を考慮しておらず、有期の支給が中心となっています。**(「将来、〇万円を払います」、「10年間払います」など)

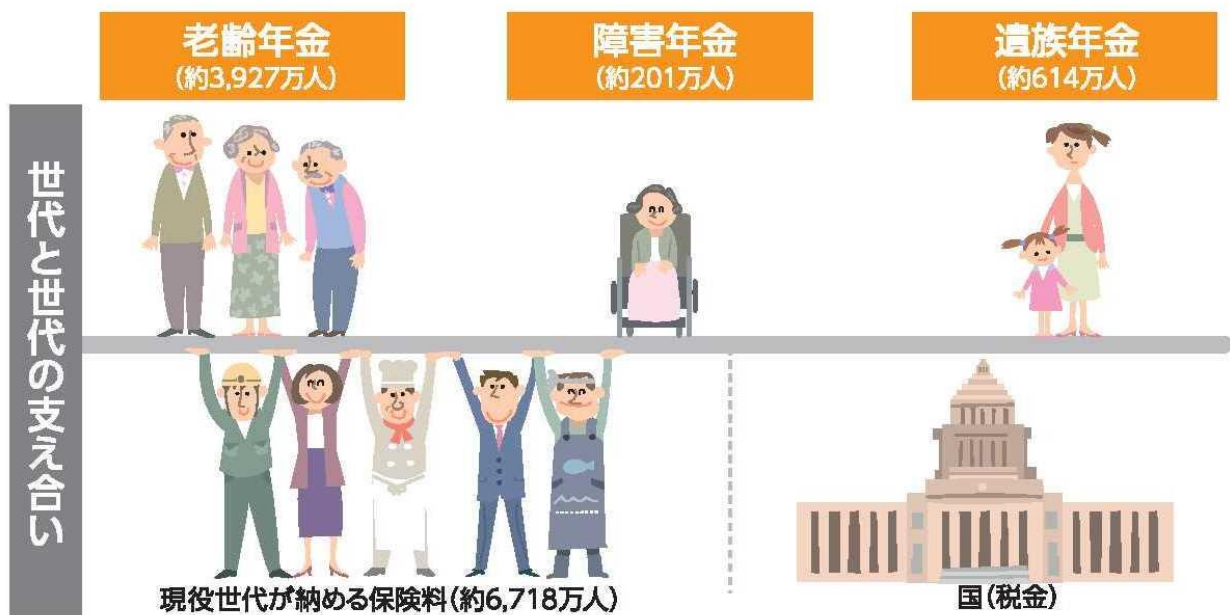
公的年金制度の仕組みはどうなってるの？

公的年金制度は、いま働いている世代（現役世代）が支払った保険料を仕送りのように高齢者などの年金給付に充てるという「世代と世代の支え合い」という考え方（これを賦課方式といいます）を基本とした財政方式で運営されています（保険料収入以外にも、年金積立金や税金が年金給付に充てられています）。

また、日本の公的年金制度は、「国民皆年金」という特徴を持っていて、20歳以上の全ての人々が共通して加入する国民年金と、会社員や公務員が加入する厚生年金による、いわゆる「2階建て」と呼ばれる構造になっています。

若いときに公的年金制度に加入して保険料を納めることで、年をとったときには全ての人々が老齢基礎年金を、厚生年金に加入していた人はそれに加えて老齢厚生年金を受け取ることができます。また、病気やけがで障害が残ったとき（障害年金）、家族の働き手が亡くなったとき（遺族年金）に年金を受け取ることができるのが公的年金制度です。

このように、公的年金制度は、基本的に日本国内に住む20歳から60歳の全ての人々が保険料を納め、その保険料を高齢者などへ年金として給付する「世代間での支え合い」の仕組みとなっています。



出典：日本年金機構「知っておきたい年金のはなし～20歳になったら国民年金～」

公的年金制度は、現役世代の保険料負担により、その時々の高齢世代の年金給付をまかなう世代間扶養の仕組みにより運営されており、賃金や物価の伸びなどに応じてスライドした年金を終身にわたって受けることができるという特長を有しています。

現在では、国民の約3割が公的年金を受給し、高齢者世帯の収入の7割を公的年金が占めるなど、国民の老後生活の柱としての役割を担っています。

公的年金制度は皆さまにとって身近で深い関わり合いのある制度です。

「ねんきん月間」・「年金の日」を機会として、改めてご自身の年金について確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしてみませんか。

最後にねんきんネットのご紹介とイベントのご案内をいたします。

ねんきんネットについて

日本年金機構の「ねんきんネット」サービスでは、ご自身の年金記録がいつでも確認できます。

皆さまの老後の生活を支える大切な年金は、加入していた年金が厚生年金か国民年金か、また、それぞれの加入期間や納めた保険料などによって決定されます。「ねんきんネット」では年金見込額試算も可能ですので、ぜひ、この機会にご利用ください。

(ご利用登録など詳しくは日本年金機構ホームページ「ねんきんネット」をご覧ください。)

ご自宅や外出先で、「年金記録照会」や「年金見込額試算」など、さまざまなサービスをご利用いただけます。

24時間いつでも、最新の年金記録を確認できます！

ご自身で簡単に年金見込額を試算できます！

スマートフォンでもご利用いただけます！

高度なセキュリティで安心です！



中国四国厚生局と日本年金機構の共催により行うイベント事業について（広島市内）

中国四国厚生局では、日本年金機構との共催により、ねんきん月間の取り組みとして、次のイベント事業を実施します。お近くの方はぜひお立ち寄りください。

【出張年金相談会・国民年金保険料納付相談会】

日時 平成28年11月12日（土曜日） 10時00分～16時00分

会場 シャレオ中央広場（広島市中区基町地下街100号）

内容 年金制度一般に関する相談・国民年金保険料の納付相談・各種イベント等

みんなの
年金相談
in 紙屋町シャレオ
年金相談・国民年金保険料納付相談会

日時 平成28年11月12日(土)
10:00～16:00

場所 シャレオ中央広場

主な内容

- 年金相談
- 国民年金保険料納付相談会
- 年金セミナー（公開実演）
- イベント（コンサート[安田女子大学弦楽部]、年金すくろく）

お気軽にお越しください！

※年金相談は無料です。ただし、年金相談会の開催に当たっては、日本年金機構が提供する年金記録照会サービスを利用するための登録が必要です。また、年金相談会の開催に当たっては、日本年金機構が提供する年金記録照会サービスを利用するための登録が必要です。また、年金相談会の開催に当たっては、日本年金機構が提供する年金記録照会サービスを利用するための登録が必要です。

日本年金機構 中国地域部
広島東・広島南・広島西年金事務所
当相談会に関するお問い合わせ先
電話 082-291-2070

